

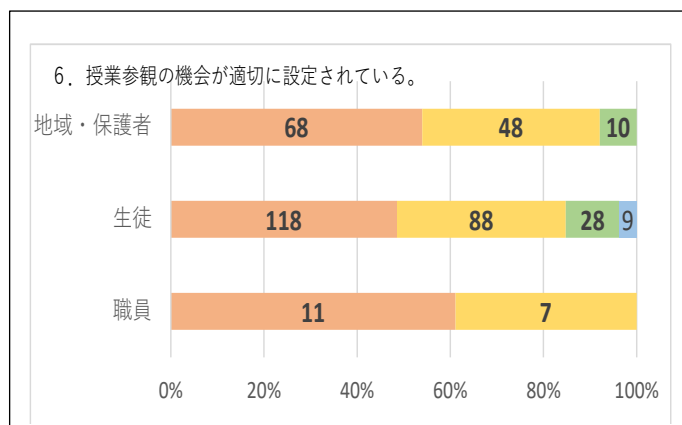
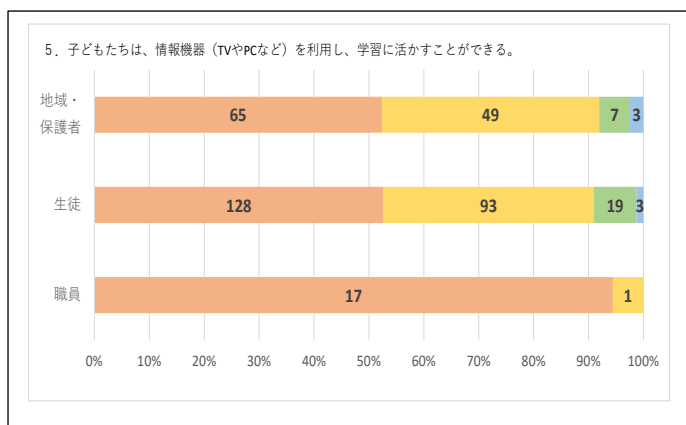
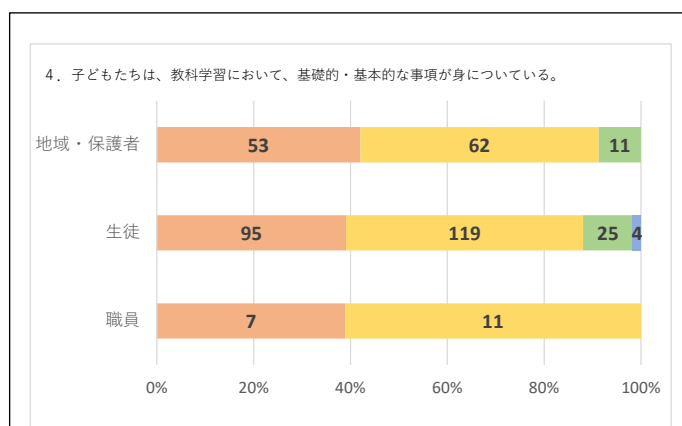
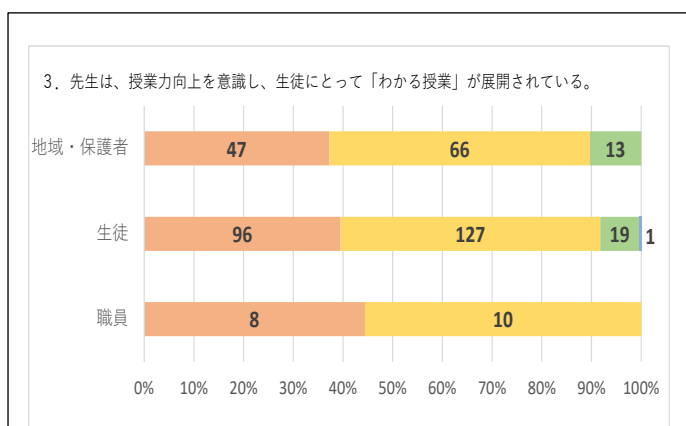
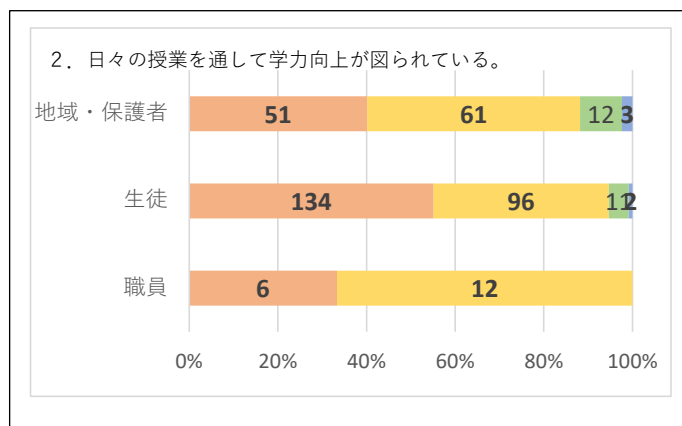
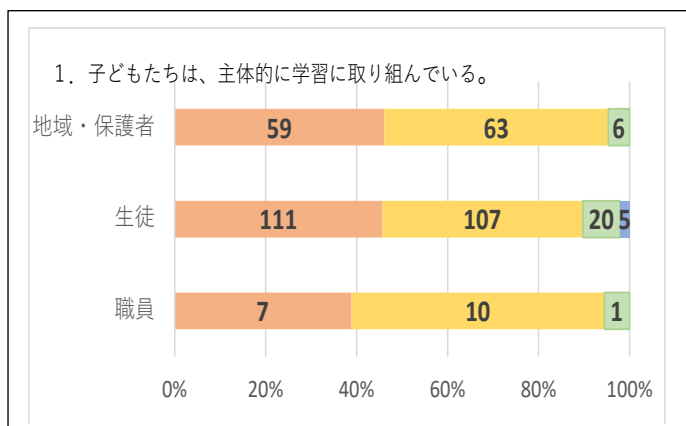
令和4年度軽井沢中学校学校評価のまとめ

アンケート実施 令和4年1月28日（月）～1月25日（木）〔Google Forms とマークシートにて〕
アンケート回収人数（生徒243名、保護者・地域の方126名、教職員18名）

◎本年度は、中期学校経営方針の見直しにより新たなアンケート項目が設定されたことから、昨年度との比較ができていない項目もあります。（グラフ内の数字はアンケートの実数です）

■ 思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

【授業改善】



☆以下の数値は、「そう思う」・「ややそう思う」の%を合計した数値です。

1. 生徒（90%）、地域・保護者（95%）、教職員（94%）
2. 生徒（95%）、地域・保護者（88%）、教職員（100%）
3. 生徒（92%）、地域・保護者（90%）、教職員（100%）
4. 生徒（88%）、地域・保護者（91%）、教職員（100%）
5. 生徒（91%）地域・保護者（92%）、教職員（100%）
6. 生徒（85%）、地域・保護者（92%）、教職員（100%）

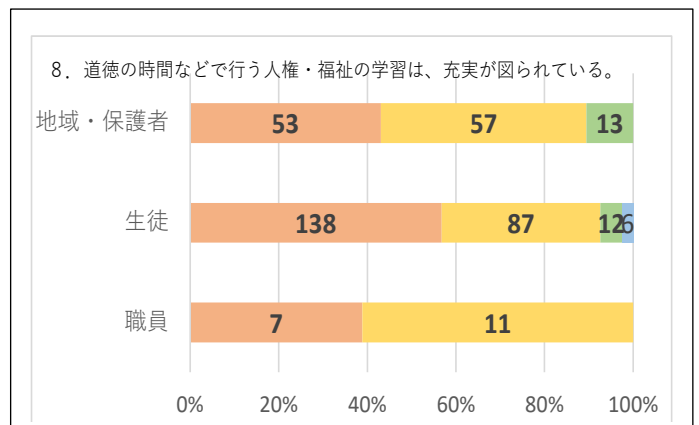
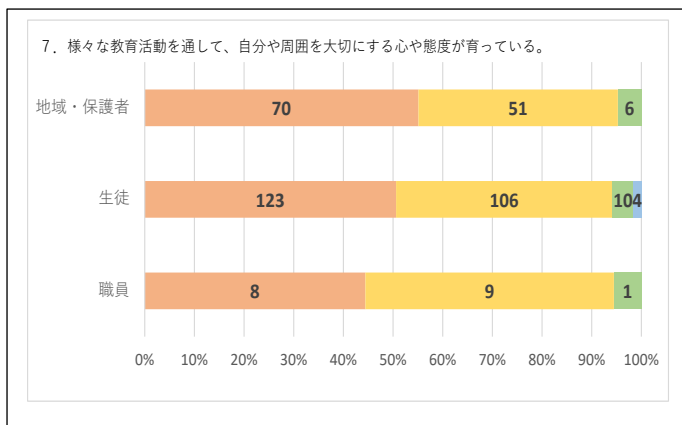
○1の項目では、令和3年度に比べ、生徒の評価が2ポイント、地域・保護者は4ポイント上がり、教職員は6ポイント下がりました。教職員は、新教育課程のもと、「主体的とは何か?」「主体的な評価とは何か?」まだまだ試行錯誤中であり、自身の迷いや不安からポイントが下がったと思われます。ただ生徒に関しては前年度とほとんど変わらず、学習への前向きな取り組みが見られると思います。

2の項目では、生徒が3ポイント、地域・保護者が3ポイント上がり、教職員は、全て「そう思う」「ややそう思う」と答えています。3の項目においても、生徒の評価が2ポイント、保護者が9ポイント上がり、教職員は全て「そう思う」「ややそう思う」と答えています。これは、生徒の学力向上のため教員が日々工夫しながら取り組んでいることの表れだと感じております。ただし、4の項目、「基礎的・基本的な項目が身についているか」については、生徒の「そう思う、ややそう思う」のポイントが他の項目と比べるとやや下がること、「あまり思わない、そう思わない」の割合が12%とやや多いことも認識し、学習に苦手意識を持っている生徒にもきちんと目を向け、より丁寧な授業展開を心がけていくことが大切であると思います。

5の項目に関しては、情報機器を積極的に活用し、多くの生徒が学習に活かすことができていると感じていることが読み取れます。しかし新しい流れの中で、本当に学習に活かしていることができているのか、実効性があるのか、きちんと検証し、今後の活用について考えていくとともに、9%の生徒が「あまり思わない、そう思わない。」と答えていることにも目を向け、PCを使いこなせない生徒がいること、あるいは学習に活かさきれていない生徒がいることにも注意を向けていく必要があると考えます。

6の授業参観に関しては、令和3年度に比べると、保護者は24ポイント、教職員は60ポイント上がっています。ただし、生徒は6ポイント下がっています。これは、体育祭や合唱祭で参観に制限があったことが原因と考えられます。生徒は、家の方が自分たちの活動を見てくれることを望んでいるようです。今年度は1時間あたりの参観人数を制限するなど、工夫しながら授業参観の機会を増やしたことが良い評価につながったと思います。

【**道徳教育・人権教育**】



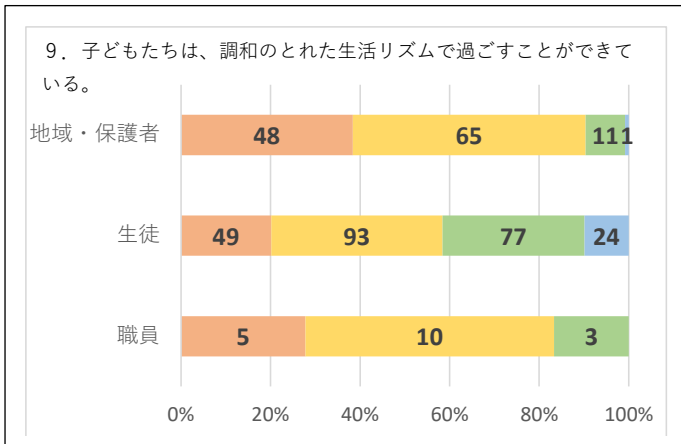
☆以下の数値は、「そう思う」・「ややそう思う」の%を合計した数値です。

7. 生徒（94%）、地域・保護者（95%）、教職員（94%）
8. 生徒（93%）、地域・保護者（89%）、教職員（100%）

○7の項目である「自分を大切にすること、自分と同じように他の人も大切にすること」という、人権教育において欠かすことのできない視点に高いポイントが得られたことはよかったですと思います。また8の項目に関しては、令和3年度と比較すると、生徒は4ポイント、地域・保護者は1ポイント、教職員は6ポイント上がりました。引き続き道徳の時間を要として、人権教育や福祉学習の充実が図れるよう工夫していけたらと思います。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

【健康教育】

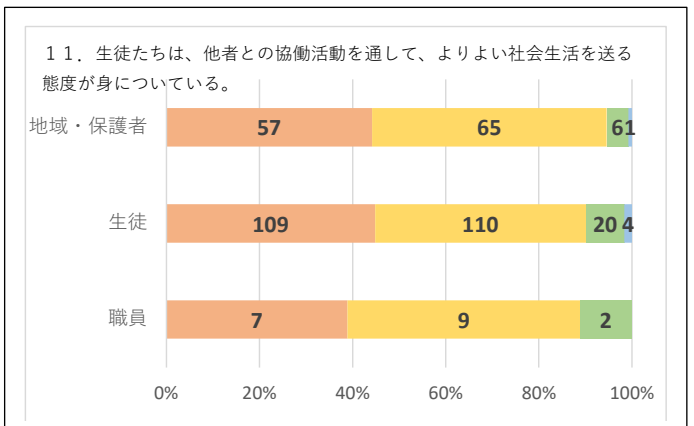
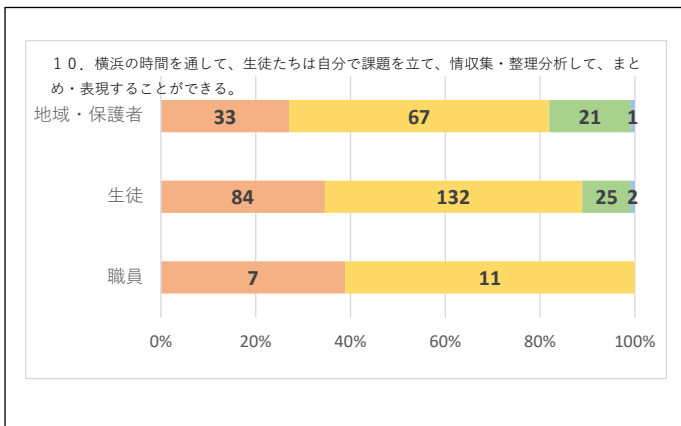


☆以下の数値は、「そう思う」・「やや思う」の%を合計した数値です。

9. 生徒（58%）、地域・保護者（90%）、教職員（83%）

○9の項目は、生徒は4ポイント、地域・保護者は2ポイント下がっています。全体的に生徒自身が調和のとれたリズムで過ごせていない、と感じている割合が高いようです。これは、11月に行った学校保健委員会のテーマを「睡眠」として、様々なアンケートをとった結果、深夜を過ぎてからの就寝などに課題があることを生徒自身が自覚できたことにも要因があると考えます。心身の健康の保持増進のために、保護者と連携して、生活習慣の改善を図っていききたいと思います。

【横浜の時間】



☆以下の数値は、「そう思う」・「やや思う」の%を合計した数値です。

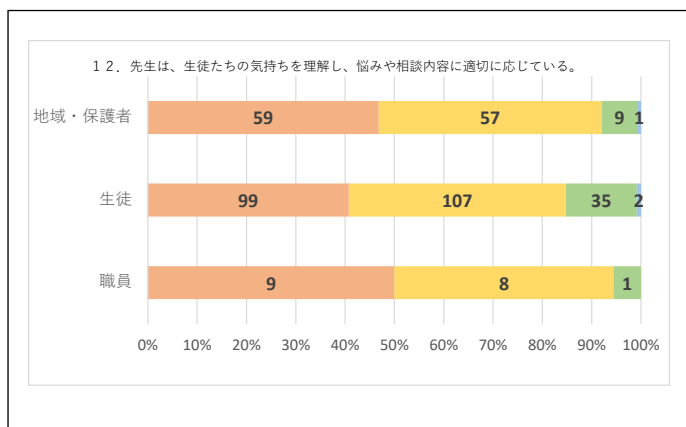
10. 生徒（89%）、地域・保護者（82%）、教職員（100%）

11. 生徒（90%）、地域・保護者（95%）、教職員（89%）

○10の項目では、「横浜の時間」を中心とした情報活用能力の力がついていることを示していると思います。引き続き学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力の育成に努めていききたいと思います。

11の「他者との協働活動」の項目で、教職員のポイントが他の項目と比べるとやや低い数字を示しています。ここ数年コロナ禍の影響で、班活動や学校行事が縮小傾向にあったことも原因として考えられると思います。活動の制約もなくなってきたので、「協働活動」を意識した学習や行事に取り組んでいけたらと考えています。

【いじめへの対応】



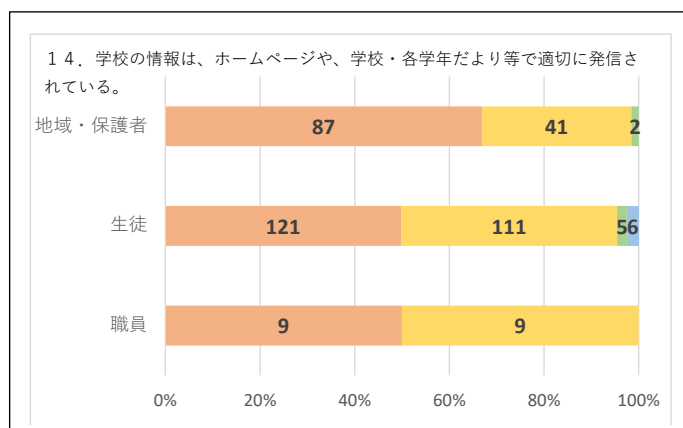
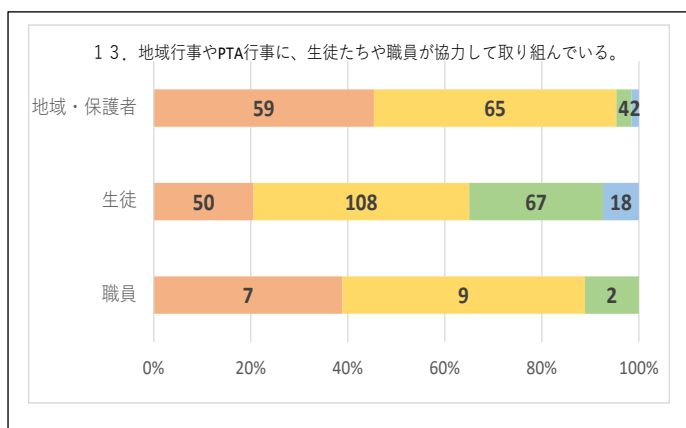
☆以下の数値は、「そう思う」・「やや思う」の%を合計した数値です。

12. 生徒（85%）、地域・保護者（92%）、教職員（94%）

○生徒と教職員の間での数値が10%も違うのがわかります。教職員がさらに生徒達とのコミュニケーションを大切にして、いつでも、誰でも相談できる環境作りをしていかなければならないと思います。年間3回の教育相談以外にも生徒との会話ができる時間を確保していく必要があると考えます。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

【地域学校協働活動】



☆以下の数値は、「そう思う」・「やや思う」の%を合計した数値です。

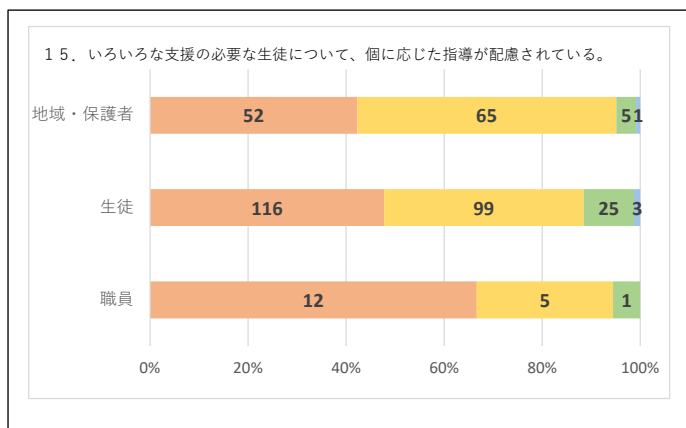
13. 生徒（65%）、地域・保護者（95%）、教職員（89%）

14. 生徒（95%）、地域・保護者（98%）、教職員（100%）

○13の項目では、生徒が4ポイント、地域・保護者が5ポイント減りました。特に生徒たちは、地域行事やPTA行事に取り組めていないと感じている割合が多くなっています。未だ続くコロナ感染症対策の影響で、さまざまな地域での取り組みが中止されたことに起因していると思われます。

○14の項目では、生徒が6ポイント、地域・保護者が3ポイント増えました。コロナ感染症対策でさまざまな学校行事が中止されていたものが、徐々に再開されていった本年は、学校便りに生徒の活動する姿が写真入りで紹介されていたので、関心をもって見てもらえたからかもしれません。令和4年度もほぼ毎月の学校便りの発行、HPの更新を進めてきました。令和5年度も年度当初に更新計画を立て、実施していきたいと思ひます。

【特別支援教育】

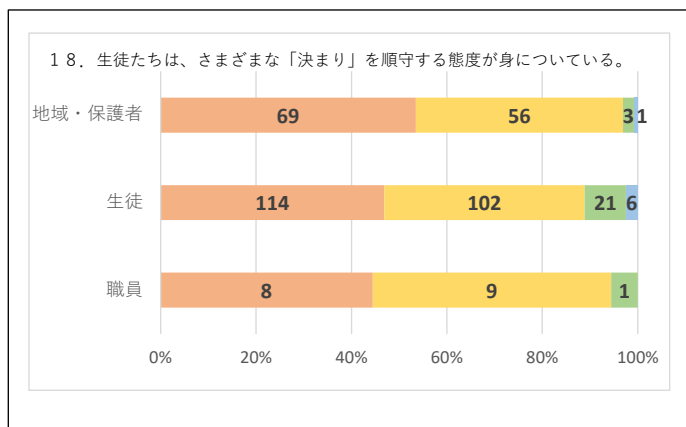
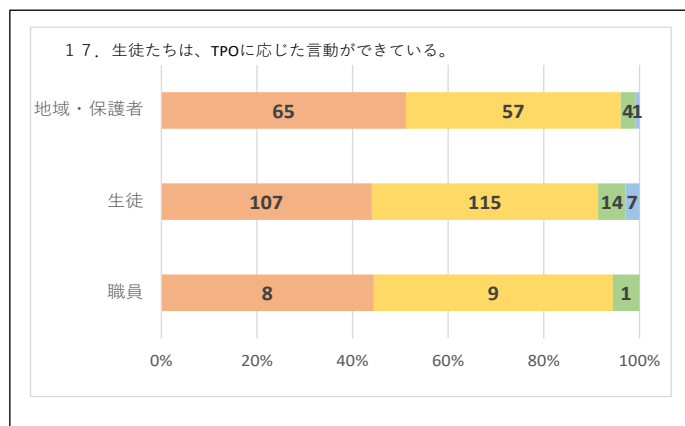
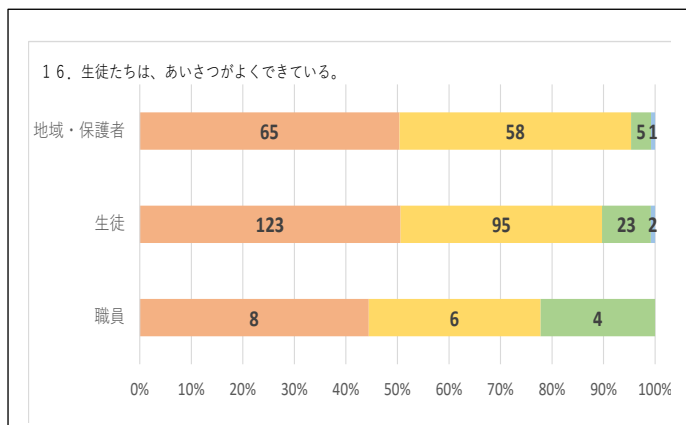


☆以下の数値は、「そう思う」・「ややそう思う」の%を合計した数値です。

15. 生徒（88%）、地域・保護者（95%）、教職員（94%）

○15の項目は、地域・保護者が7ポイント、教職員が14ポイントも増えているにも関わらず、生徒が4ポイント減少しています。職員や保護者の生徒に対する思いと、生徒自身が感じている困り感に対する学校の対応にずれが生じています。日々の声掛けや情報の共有はもちろんですが、職員自身が生徒の気持ちに寄り添い、相談しやすい関係性を気づいていくことが必要だと思われます。

【生徒指導】



☆以下の数値は、「そう思う」・「ややそう思う」の%を合計した数値です。

16. 生徒（90%）、地域・保護者（95%）、教職員（78%）

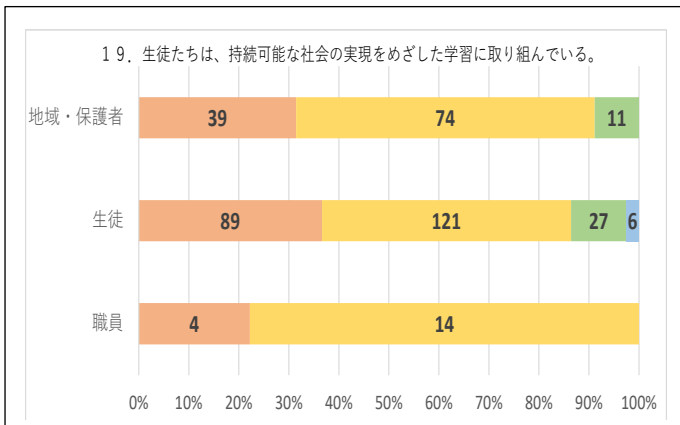
17. 生徒（91%）、地域・保護者（96%）、教職員（94%）

18. 生徒（89%）、地域・保護者（97%）、教職員（94%）

○16の項目については、生徒と地域・保護者の評価は高いですが、教職員は8割を切っています。挨拶がまだできていないと感じている教職員が一定数いるという結果になりました。教職員が率先して挨拶をすることはもちろんですが、色々な場面でしっかりと挨拶ができるように今後も指導していきたいと思います。

○17、18の項目は生徒、保護者、教職員ともに評価は前年度同様、高い評価になっています。生徒の自尊心を高めながら、今後とも決まりを守ることの大切さ、TPOに応じた言動の大切さを生徒に発信していきたいと思います。

【E S Dの推進】



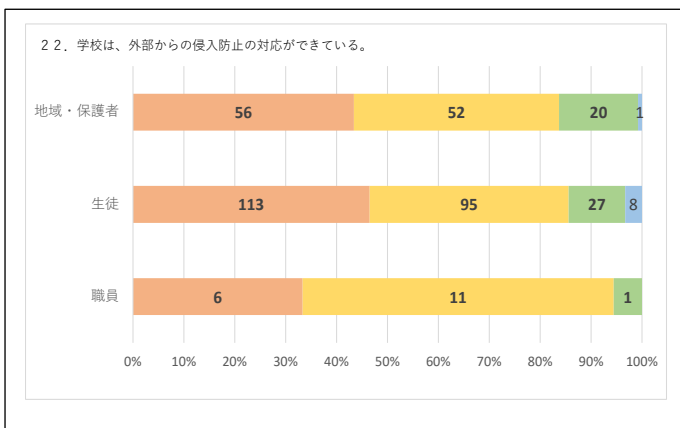
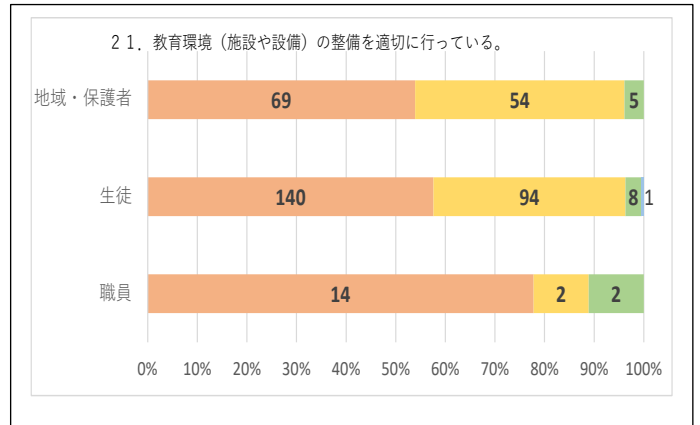
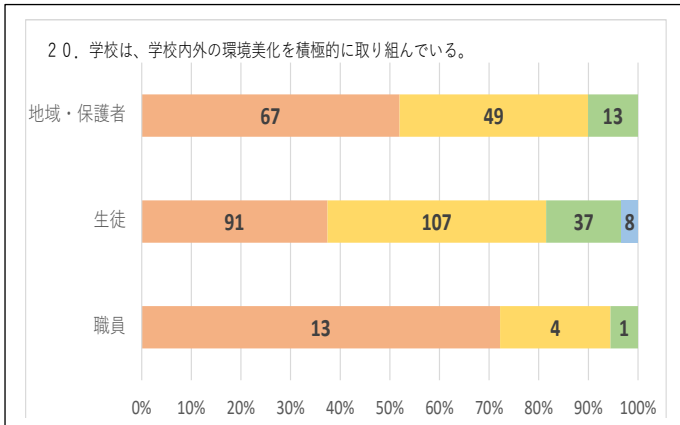
☆以下の数値は、「そう思う」・「ややそう思う」の%を合計した数値です。

19. 生徒（86%）、地域・保護者（91%）、教職員（100%）

○19の項目に関しては、生徒は変化がなく地域・保護者は3ポイント上がり、教職員は15ポイント上がりました。生徒のポイントがやや低い点が気になります。「E S D」は新学習指導要領にも記載され、各教科でも取り上げられるようになりましたが、その分、生徒にとっては他の学習内容と同じように捉えられ、埋もれていってしまうことも考えられます。それを防ぐためには、教員側が、「これはSDGsの〇〇と関連しています」などと伝えていくことによって、生徒側に意識づけられていくと思います。今後もE S Dの大切さを示すとともに、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身につけるような学習を推進していけるよう、努める必要があります。

■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ そう思わない

【施設・設備等】



☆以下の数値は、「そう思う」・「やや思う」の%を合計した数値です。

- 20. 生徒（81%）、地域・保護者（90%）、教職員（94%）
- 21. 生徒（96%）、地域・保護者（96%）、教職員（89%）
- 22. 生徒（86%）、地域・保護者（84%）、教職員（94%）

- 20の項目については、生徒が1ポイント、地域・保護者が5ポイント、教職員は6ポイント下がっています。日頃の清掃などの取り組みなどを見直し、今後の指導に活かしていきたいと思います。
- 21の項目では、生徒、地域、保護者が2ポイント上がりましたが、教職員は6ポイント下がりました。引き続き環境の整備を適切に行っていきたいと思います。
- 22の項目では、昨年度より生徒の評価は6ポイント、地域・保護者は2ポイント、教職員は1ポイント下がりました。前年度同様、学校関係者以外も校地に入ることができるので、今後とも教職員で学校利用者に対する意識を高める必要性を感じています。

【全体を通じた成果と課題】

- ・全体的には例年と変わらず「挨拶や TPO に応じた言動や「決まり」を守ろうとする態度など、マナーをしつかりと身につけており、学習面においても、勉強に一生懸命取り組み、様々な行事に意欲的に取り組む軽中生という姿に変わりはありませんでした。
 - ・生活面では、「アンケート項目 1 2 先生は、生徒たちの気持ちを理解し、悩みや相談に適切に応じている。」では、教職員と生徒の間に 10%の開きがありました。時代に対応したそれぞれの悩みや相談内容にきめ細かく対応していけるよう、研修を重ね支援していきたいと思います。
 - ・学習面では、主体的に学習していると答えている生徒は 2 ポイント、保護者・地域の方は 4 ポイント昨年度よりあがりました。しかし、教職員は、新教育課程の「主体的」とは何か？については試行錯誤中であることも影響してか、6 ポイント下がっています。学校教育目標の柱である「主体的に学び行動する」をさらに推進していくため、引き続き研修を重ね、各教科ごとのアンケートなども活用しながら授業改善に活かしていきたいと思います。
 - ・多くの生徒に関しては、前年と変わらず学習に前向きな取り組みが見られますが、学習に苦手意識を持っている生徒にも目を向け、丁寧な授業展開を心掛けていくことが大切であると思います。
 - ・令和 4 年度の最大の課題と考えられるものは、昨年に引き続き、アンケート項目 9 の「子供たちは、調和のとれた生活リズムで過ごすことができている。」です。新型コロナウイルス感染症対策で部活動の活動時間に制限が設けられるなど、新しい生活様式の中での「生活リズムを整える、整えた生活リズムを継続する」ことの難しさがさらに浮き彫りになってきたように思います。また、スマホやインターネット等の影響も否めません。SNS の使い方も含めて、この項目の改善策を検討し、令和 5 年度は家庭との連携を深めながら改善していきたいと思
- います。